

朝明中学校通信 (校長便り)	和 学 鍛	H27.7.16 (木)  第7号
-------------------	-------	---

1学期の子どもたちの成長と夏休み

保護者や地域の皆様には、平素から本校の教育活動にご理解・ご協力いただき、深く感謝申し上げます。1学期は残すところ僅かですが、三か月余りの短い期間でも、生徒はそれぞれ次のような成長を見せてくれたように思います。1学期を振り返るとともに、夏休み以降の子どもたちに期待することを少し綴ってみたいと思います。

(1) 1年生



4月に入学した当初は、やはりまだ小学校のときの状況が抜けきらないようにも感じましたが、5月の連休明けからは、部活動が本格的に始まったこともあり、次第に中学生らしくなってきました。6月には自然教室を体験し、はじめて仲間とともに2泊3日を過ごしました。また、中間・期末と2回の定期テストも経験し、中学校生活にかなり慣れてきたように思います。

しかし、子どもたちが大きく変容するのは夏休みです。特に1年生は、中学校生活の慣れが、いい意味でも悪い意味でも夏休み後に現れることが多いようです。したがって、この夏休みは、目的を持った規則正しい生活が何よりも重要となります。2学期は、学期開始早々に初めての体育祭を経験します。学級の一員として、仲間と協力する成長した姿が見られることに期待したいと思います。

(2) 2年生



本年度の2年生は、例年と違って職場体験学習が2学期の実施となりました。したがって今学期は他学年のような大きな行事がなく、落ち着いて過ごせた学期ではなかったかと思います。

しかし、大きな行事こそなかったものの、人権学習にじっくりと取り組めた学期でもありました。今後は、体育祭や文化祭などの集団の関わりが必要とされる機会に、仲間と支え合う姿を大いに発揮するなどして、人権学習の成果を披露してくれるのではないかと期待しています。

また、2年生にとっても夏休みは大きな意味を持つ期間となります。それは、多くの生徒が部活動の中心になるからです。特に運動部においては、夏休み中に新チームが発足し、10月の中体連新人大会に向けてスタートします。10月からは、生徒会執行部も2年生中心となるので、学校をリードする学年としての自覚を夏休みから高めたいってほしいものです。

(3) 3年生



3年生にとって、1学期の最も大きな行事は修学旅行でした。団体行動や班別分散学習の準備は大変でしたが、市内最大の学年集団が大きな事故もなく3日間の旅行を全うできたこと自体、たいへん素晴らしいと思います。それだけでなく、仲間と助け合う姿、集合時間や公衆マナーを守るため互いに声を掛け合う姿などから、成長を随所に感じさせてくれました。また、旅行後は修学旅行で学んだことを個々に新聞にまとめてみました。その作品を見られた来訪者の方々は、たいへん感心しておられました。

さて、3年生にとっての夏休みは、進路に向けての重要な期間であり、これまで以上に気を引き締めて過ごしたいものです。加えて、2学期には3年生にとって中学校生活最後の体育祭・文化祭が控えています。この大きな学校行事において、これまで培ってきた仲間との友情を、クラスの団結という形で存分に発揮してくれることと期待しています。

朝明中は一日にしてならず

6月の後半は、来客の多い日が続きました。特に、6月22日からの学校公開週間には、保護者の皆様をはじめ、大矢知・八郷地区の民生委員・保護司の皆様、コミュニティスクール運営協議会委員の皆様など、多数の方々に訪問いただきました。深く感謝いたします。

訪問された方々から様々な声をいただきましたが、たいへんありがたく感じたのは、「朝明中学校の生徒さんは、本当に真面目な学習態度ですね」「校舎は古いけど、清掃がよく行き届き、きれいですね」「掲示物がよく整理されていますね」などというお褒めの言葉でした。

中でも、6月2日の交通安全の講話で来校された大矢知交番の矢田署長が、「体育館ばかりではなく、体育館に向かう移動中も生徒は本当に静かですね」とたいへん感心されたこと、また7月1日、PTA主催の「子どもの未来を語る会」に講師としてお招きした熊野市立木本中学校の長島洋校長先生が、生徒に対し「君たちの聞く姿勢は三重県一だよ」と褒めていただいたことは、本当にうれしく感じました。

(裏面に続きます)

こうした現在の朝明中学校の姿に対し、驚きの声もよく聞きます。特に、教育実習に来た卒業生や元保護者の方々からは、「本当に素晴らしいですね」という印象のあと、必ず同じ言葉が続きます。それは、「どうして、こんなに落ち着いたある雰囲気になったのですか？」という質問です。

この要因は一言で説明できるものではありません。ご家庭や地域の方々のご協力が基盤となっていることは言うまでもありません。就学前の保育所や幼稚園、小学校からしっかり育てていただいたことも当然ありましょう。

ただ私は、手前味噌かもしれませんが、本校の教員が一丸となって、生徒を見守り続けてきたことも大きな要因と考えています。時には、指導が至らぬこともあったりして、保護者や地域の方からお叱りを受けることもあります。生徒のことを大切に考えて時間をいとわず教育活動に取り組む本校の教員を、私は大変誇りに感じています。

「ローマは一日にしてならず」という諺（ことわざ）があります。現在の朝明中学校の落ち着いた雰囲気は、総じて言えば、**家庭・地域・学校による連携の積み重ね**がもたらしたと言えるのではないのでしょうか。本校といたしましては、現状に甘えることなく今後も教育活動に精一杯取り組んでまいりますので、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

— 平成27年度四日市市教育委員会夏季教職員研修講座及び四日市科学セミナー（保護者向け案内） —

ふとうこうたいさくけんしゅうかい
不登校対策研修会②

こ しん
「子どもを信じること」

「自分の子どもは信じるに値する子だ、大事にするのに値する子だと信じるのです。親から信じてもらえることこそが、子どもにとって決定的に大切な勇気の源になります。——著書「子どもを信じること」本文より
親がなんとかしなければ子どもはどんどんダメな方向に進んでしまうのではと、つい小言が多くなってしまふこととはありませんか。子どもを信じて待てるような関係づくりをしたい方にお勧めの講座です。

(こうし) さ ほがわしんりょうじょい し りんしやうしんりし たなか しげき
【講師】 佐保川診療所医師 臨床心理士 田中 茂樹

にち じ がつ にち すい
日時 7月29日(水) 14:00～16:30

ば しょ きんろうしゃ しみんこうりゆうせんたー たもくてき
場所 勤労者・市民交流センター多目的ホール

じぜんもうしこ ひつよう どうじつ かいじやううけつけ さん かもうしこ ねが
※こちらは、事前申込みは必要ありません。当日、会場受付にて、参加申込みをお願いします。

よっかいち かがく
四日市子ども科学セミナー パート4

てんき じんこうえいせい ちきゅうかんきやう
「天気からみる・人工衛星からみる地球環境」

- ・天気予報のできるまで
- ・地球環境の現在、そして未来は？
- ・地球を守るために役立つ人工衛星

だい ぶ てんき ちきゅうかんきやう みらい てんき
第1部 「天気からみる地球環境」～未来の天気はどうなる？～

こうし み え きしやう たもり せいこ
【講師】 三重テレビ気象キャスター 多森 成子

だい ぶ じんこうえいせい ちきゅうかんきやう あまぐも みかた
第2部 「人工衛星からみる地球環境」～雨雲を、味方にせよ～

こうし ジャク サえいせいりやううんよう まつばら しょうじ
【講師】 JAXA衛星利用運用センター 松原 彰士

にち じ がつ にち か
日時 8月11日(火) 13:15～15:35

ば しょ ぶん かいかん だい
場所 文化会館 第2ホール

じぜんもうしこ ひつよう
※こちらは、事前申込みが必要です。

もうしこ べつと あんない よっかいち かがく
申込みについては、別途ご案内いたしました「四日市子ども科学セミナー」チラシや

よっかいち かがく ざん おうふく もうしこ
四日市子ども科学セミナーHP をご覧いただき、往復はがき、またはメールにてお申込みください。

こうしき
公式ホームページ <http://www.y-kodomo-kagaku.com/>

※「和学鍛」はホームページにも掲載いたします。